

J A 伊勢梅部会【南伊勢町南勢地区】

- 未利用資源の完熟小梅に着目し、**高価格帯の「樹熟五ヶ所小梅」**を商品化！
- 「樹熟五ヶ所小梅」の販売を契機に、**産地の生産力を強化！**

地域の概要

志摩半島の南部に位置する南勢地区は、熊野灘の黒潮の影響を受け、年中温暖な気候条件から、温州みかんの産地として知られている。

この地域で 200 年以上にわたり守り育てられてきた「五ヶ所小梅」は、真珠のような透明感がある果色が珍重され、おいしい梅干の材料として評価が高い。



収穫直前の五ヶ所小梅

取組の背景

生産者の高齢化や獣害などによって生産者が減少する中で、「もうかる梅栽培」を実現するため、未利用資源であった完熟の梅に着目し、平成 23 年頃から高級商材「樹熟五ヶ所小梅」の開発をスタートさせた。

十分熟すまで待ち収穫するこの梅は、傷みやすく収穫も難しいため、これまで販売されてこなかったが、琥珀色で芳醇な香りを漂わせる逸品である。

取組のポイント

ポイント1 消費者モニター調査により、消費者ニーズに沿う商品コンセプトを確立

- ・ 少量の極上品を高単価で販売することをめざし、常連顧客を中心に消費者モニターからの意見をしっかりと聞き、消費者ニーズに沿う商品コンセプトの確立に取り組んだ。
- ・ 高級商材として付加価値を高めるため、グラフィックデザイナーに依頼し、「皮が薄く、果肉が厚い、太陽が生んだ五ヶ所原産の小梅」をキャッチコピーに、統一感のある包装・PR資材を制作した。



樹熟五ヶ所小梅

ポイント2 「樹熟五ヶ所小梅」の販売を契機に、産地を活性化

- ・ 「樹熟五ヶ所小梅」の栽培では、これまで問題にならなかった「すす斑病^{はん}」が発生したが、適期に追加防除することで克服することができた。
- ・ 「樹熟五ヶ所小梅」は従来よりも高い単価で取引され、農家手取りも 1.5 倍以上を確保できたことから、生産意欲の向上に寄与している。

今後の展望

「樹熟五ヶ所小梅」として高品質果実を出荷できる生産者は限られている。今後、多くの生産者が取り組めるように技術を普及しニーズに応じて増産したい。

◆本事例に関する問い合わせ先◆

三重県伊勢農林水産事務所農政室地域農政課
電話 0596-27-5164